

# 平成27年度 第2回花見川区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成28年3月16日(水) 午後2時00分～午後3時40分

2 場 所 幕張公民館 講堂

3 出席者 出席・・・13名(定足数8名>7名=13/名)

竹内昌夫委員、東野陽子委員、宇野勝男委員、鶴岡義昭委員、小嶋 昭委員、  
吉田とし子委員、大矢建三委員、服部恭子委員、林 徳子委員、門脇昌子委員、  
橋本香代委員、永島伸浩委員、清水幸子委員

欠 席・・・2名

橋本好恵委員、野村佳代子委員、

(事務局)

永野館長、斉藤副館長(幕張)、村松館長(花園)、平川館長(犢橋)、  
川田館長(検見川)、小原館長(花見川)、鈴木館長(さつきが丘)、  
関 館長(こてはし台)、松戸館長(長 作)、三野宮館長(朝日ヶ丘)、  
成毛館長(幕張本郷) 若梅主査補、渡部囑託主事(幕張)

4 審議会

(1) 議事録署名人の選出

(2) 議事

① 承認事項

議案第1号 平成28年度 事業計画について

- ・平成28年度 公民館主催事業計画
- ・平成28年度 花見川区事業計画

② 報告事項

平成27年度 事業報告について

- ・平成27年度 公民館主催事業報告
- ・平成27年度 花見川区事業報告

③ その他

5 審議会の概要

(1) 開会のことば(進行:斉藤副館長)、委員長あいさつ(竹内委員長)の後、議事録署名人の選出を行い、2名の委員が議事録署名人に指名された。

・議事録署名人:服部恭子委員、林 徳子委員 ・傍聴人:0人

(2) 承認事項(議案第1号 平成28年度の事業計画について)と報告事項(平成27年度事業報告について)を一括して提案説明をした。

(3) その他

永野幕張公民館長から、幕張公民館が10月から11月まで空調設備改修工事のため2か月間休館したこと。11月27日の第67回千葉県公民館研究大会 香取・海匠地区公民館連絡協議会研修会に参加した竹内委員長からの大会報告があった。

6 会議経過

<p>斉 藤 幕張公民館副館長</p>	<p>・15名中13名の出席、千葉市公民館管理規則第12条第1項の規定により成立。千葉市情報公開条例等に基づき公開となっており、議事録作成のため、録音します。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・審議前に議事録署名人に、服部委員と林委員にお願いします。 ・各公民館の承認事項、報告事項を合わせて審議をお願いします。</p>
<p>斉 藤 幕張公民館副館長</p>	<p>・28年度の事業計画は、27年度の事業を精査し、新たな事業を加えて計画している。家庭教育は2つ。家庭教育学級は小・中の3校と協力して計画。少年教育では本市が科学都市を目指していることから、夏休みに科学館の出張教室を利用して開催予定。成人教育では千葉開府890年ということで千葉氏を学びながら歩く講座を企画。また、防災講座を開催し、災害への対応をあらためて認識することや地域の方にもっと音楽を楽しんでもらおうと音楽観賞会を開催。計14事業36回の事業を計画している。</p> <p>27年度の主催事業の報告として、概ね計画通り実施。家庭教育学級の「ウインターコンサート」では幕張中生徒が熟演。少年教育の「えいごであそぼう」は保護者の関心も高く、すぐに定員になった。成人教育の「木のおもちゃをつくる」では、以前当館の受講生がクラブサークルを立ち上げ、今回は講師となった。女性教育では、いずれの講座も好評だった。</p>
<p>村 松 花園公民館長</p>	<p>・28年度主催事業計画では、継続14、新規12の26事業を予定。家庭教育事業として、花園中学校区の保護者会を対象とした教育座談会や、新規のいきいき子育て講座等を含めた9事業。少年教育では、子供チャレンジ11事業。特徴としては料理中心から理科や工作など学習チャレンジを含めている。成人教育は歴史散歩や高齢者教育の花園チャレンジ大学を含める。その他AED、演奏会などを実施予定。</p> <p>27年度の事業報告では家庭教育座談会を初めて実施したが、大変好評であった。子供チャレンジを9事業実施。ヘルスマイトや学習ボランティア育成委員会に協力してもらいとても好評。成人教育では3事業を実施。高齢者教育では、花園チャレンジ大学を全10回予定したが、参加率が悪く、次年度は成人教育の枠として縮小して実施。その他、尺八やオカリナ、大正琴の演奏にコーラスがジョイントとして参加、素晴らしい演奏会となった。</p>
<p>平 川 犢橋公民館長</p>	<p>・28年度は建て替え工事のため、休館します。犢橋公民館は昭和29年7月創設。2回の移転後に45年に現在の地に移転し46年経過。老朽化が著しく、2年間の休館後、30年4月に新しくオープンする予定。その間、現在活動している団体やサークルは近隣の公民館やコミュニテ</p>

<p>川 田 検見川公民館長</p>	<p>イセンターで活動してもらおう。サークルが継続してできるよう各施設にお願いしている。27年度の事業報告では、実施した15事業のうち8割が募集定員以上。少年教育の「書初め練習会」、成人教育の「おりおりの折り紙教室」、高齢者教育の「シニア向けスマートフォン」は1.7倍の応募者があったが、講師と相談し応募者全員参加できるようにした。</p> <p>「童謡を楽しもう」は、過去の応募者が再度応募して楽しみにしている。2月28日に「さよなら公民館」のイベントを実施したが、大盛況のため会場の都合上先着順となった。</p> <p>・28年度の事業計画は16事業。家庭教育学級は心の研修ができるの良いと考えている。少年教育では、子供たちに来館してもらうために「本の読み聞かせ」を計画している。当図書室職員が地域で読み聞かせのボランティアをしており、当館でも実施したいと考え事業の中に組入れた。成人教育のサークル連協体験学習は、体験に来た受講生がその後、継続していくことが多く、サークルの活性化に効果があると考えている。クリスマス音楽会は公民館で活動している団体と地域の音楽愛好家団体の合同の演奏会を開いている。来年度はこの催しに花園中学校も参加したいという申し出があった。27年度の事業報告で「バレンタインお菓子作り」、「成人向けのエコバックづくり」はとても好評だった。図書室では子供向け「塗り絵コーナー」を設け、季節ごとの塗り絵用紙を置き、その絵に関連した本を並べた。その結果、たくさんの子供たちが来館し、とても好評だった。</p>
<p>小 原 花見川公民館長</p>	<p>・28年度は14の事業を予定。家庭教育の子育て支援の講座は今まで2歳と3歳～4歳児に分けて2講座を実施していたが、3～4歳児の参加者が少ない傾向にあり、2歳児前後という枠で幅を広げ1講座にした。少年教育ではモノづくり、食べ物づくりを主体に組んでいる。成人教育、高齢者教育では、継続要望の多かったものや高齢者対策、防犯対策などの講座を予定している。27年度主催事業報告は、計画の段階では13の事業だったが、当利用サークルからの要望があり「ふれあいハーモニカ演奏会」を追加、14事業を実施した。家庭教育の子育て支援の講座は、回を追うごとに人数が増えた。少年教育は学校行事と兼ね合いで少ない講座もあったが、いずれも楽しく出来た。成人教育や高齢者教育では、医療講演会「認知症の現状と予防」「ふれあいラテンコンサート」は大変好評で、入場可能な限り参加してもらった。</p>
<p>鈴 木 さつきが丘公民館長</p>	<p>・日本人の三大成人病を生活習慣病と訂正をお願いします。28年度事業計画の家庭教育では、新規で親子のスキンシップを図るベビーマッサージを計画。少年教育では映画鑑賞を中心にサークル団体の協力でマジック教室を開催。成人教育では地域の医療機関と連携し、健康づくり教室や社会問題ともなっている認知症についての講座も引き続き行う。</p>

	<p>高齢者教育では指導員による介護予防体操を行う。AEDを使った救急救命講座や日本自然観察指導員によるさつきが丘の身近な自然観察を行う。27年度事業報告として、家庭教育では参加者体験型で青少年育成委員会の全面協力で、親子の共同作業で実りある事業となっている。健康づくり「すぐ効く漢方、じっくり効く漢方」では地域の医師方が講師で、質問も多く好評だった。ファミリーコンサートは当館で活動している団体と市内で南米音楽の演奏活動をしているグループの演奏会でとても好評だった。認知症サポーター養成講座は、家族に認知症の方を抱えるなかで、認識を新たにすることができた。介護予防体操も日常の介護予防につながる講座として好評だった。</p>
<p>関 こてはし台公民館長</p>	<p>・28年度事業計画を説明します。第1回運営懇談会で、「男性にもっと公民館に出てきてもらおう」という意見があり、新しい事業を企画した。家庭教育では、子育て講座「パパと遊ぼう」として父親業の学習を設定。高齢者教育では「こてはしダイ学」をつくり、孫育ちでは孫とのかかわりを学び、日経平均と外国為替や相続と遺言とお墓、エンディング・ノートや英語で聴く落語など企画。伝統的に力を入れている少年教育では、新たに「落語に親しむ」を取り入れ、小学校4年生の国語で学ぶ落語の懸け橋になればと考えている。事業の中に落語がたびたび出るのは地域に落語のコーディネーターさんが在住しているおかげです。27年度の事業報告として、1歳6カ月からの子育ては2回となっているが実際は3月末で5回。「子供チャレンジ」の将棋と囲碁は年間10回行われている。応募者の多かった「エクセル講座」は抽選、「工作教室」と「つくって食べ隊」、「夜の子供教室」は講師と相談し、応募者全員の参加にした。残念なこととしてアロマセラピーのマンネリ化、自分史づくりの応募者が少なく広報の方法などを反省している。</p>
<p>松 戸 長作公民館長</p>	<p>・28年度主催事業計画の新規事業の中で、成人教育の「消費者生活講座」は特殊詐欺や悪徳商法について、市の消費生活センターと連携した講座を開催し啓発していきたい。当館のサークル活動の団体との共同企画として茶道や着付け、詩吟等の講座を計画している。27年度の主催事業の報告で、高齢者教育の認知症予防講座は生涯学習センターのボランティア登録の方を講師にお願いし、体操と音楽ということで講座を開催、大変好評だった。成人教育の「そば打ち入門講座」は、長作在住の講師の方をお願いし、自分で育てたそばを挽いてできたそば粉を使ってそば打ちをするということで大変好評。ケーブルテレビの取材も入り、大いに盛りあがった。</p>
<p>三野宮 朝日ヶ丘公民館長</p>	<p>・28年度事業計画は、本年度の成果と振り返りをもとに計画。継続事業として、昨年度新たに取り組んだ食生活のあり方について学ぶ講座を、家庭教育、成人教育、女性教育の3分類で実施予定。図書室と連携</p>

	<p>して取り組むおたのしみ映画会も今年も少年教育で実施。受講希望の多いパソコン講座は内容を向上させ、エクセル講座を取り入れた。新規事業として、粘土でランプづくり、川柳と雑学、デジタル一眼レフ入門など多様な学習意欲に応えられるよう学びの場を企画し、稼働率向上に努める。27年度の事業報告では、少年教育のクリスマスケーキづくりやクリスマス石鹸飾りづくりでは受講児童も多く、いくつかの小学校児童が仲良く制作した。食生活改善推進委員の力を借りて、親子で料理「もみもみまきまき」、「野菜たっぷり健康レシピ」、「太巻き祭り寿司」は健康づくりの視点から有意義な講座だった。図書室との連携で実施した映画会は、広報で努力したが参加者が昨年より減少、どのようにして興味を持たせるかが課題となった。今後、課題を含め多くの方に利用してもらうために講座のあり方について検討を進める。</p>
<p>成 毛 幕張本郷公民館長</p>	<p>・28年度主催事業計画は、社会の状況や地域性を考慮し計画。高齢化率が低く、子供から若い層、高齢者まで同様の分布なのでそれぞれの年齢を対象にした講座を企画。新しい住民が多く住民同士の絆づくり大きな課題といった地域性を考慮し計画した。心を豊かにする上から秋に実施していた「絵手紙づくり」を夏休み子ども探検隊に取り入れた。成人教育では若い人にも千葉市の歴史や手作りの良さを知ってもらうため、歴史講座や大人のパン作り、天然醸造みそづくりなどを実施、災害時の地域の絆を深めるために普通救命講習会を新規事業として企画。高齢化社会に対応し、生きがいつくり仲間づくりの場として「口から始める介護予防」を企画。地域の絆づくりの一環として当公民館で活動している音楽サークルによるコンサートも計画している。学校での子どもたちの学習成果を地域の方に紹介するとともに公民館活動を理解してもらう機会として生徒作品展を実施する。27年度主催事業はどの講座も応募者数が定員を上回った。子育てに関する家庭教育、少年教育のものづくり講座、幅広い年齢層が受講できる成人教育、高齢者教育のスマートフォン講座などニーズに促した事業を実施した。主催事業が地域の絆づくりに貢献できていることは好ましい事と言える。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・最後に区の事業についてお願いします。</p>
<p>永 野 幕張公民館長</p>	<p>・平成28年度花見川区事業計画は、5分類の中の家庭教育に分類され、千葉市教育委員会から委嘱された子育てサポーターや臨床心理士の家庭教育アドバイザーからのアドバイスを受けながら、子育て相談と仲間づくりを目的に実施。名称は来年度も「子育てママのおしゃべりタイム」として年間22回を予定している。27年度の事業報告は、まだ継続中であるが、母親の悩み相談、子供同士の出会いの場として取り組みについては高く評価されている。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・これから、平成28年度の事業計画についての質問がありましたらお願いします。なお、発言の際は議事録を作成しますので、必ずお名前を</p>

	述べてからお願いします。
竹内 委員長	・花園公民館の家庭教育学級の1と2があるが、概要や期日が同じなのでその違いは何か。
村松 花園公民館長	・2回やるが、それぞれ内容が違うのでそのように表記している。対象は同じで、1回目が料理講座、2回目が運動系などそれぞれの学校からの要望に応じて決めている。
竹内 委員長	・今後、各学校から要望が出されるということですか。
村松 花園公民館長	・そうです。
竹内 委員長	・そのほかありますか。
永島 委員	・花見川公民館の「ワード・エクセル講座」の定員3名というのは少ないのではないかと。
小原 委員	・1人の受講生に1人の講師がついて1時間の講座。パソコンを持参し、つまづきの先を教えてもらう。これを3回行うので3名。
竹内 委員長	・そのほかなければ、犢橋公民館ですが、来年度工事に入るわけだが、その間の職員はどうなるのか。
平川 館長	・私自身は、この3月で退職になります。もう1名は他のセクションに異動します。団体の対応は職員としてはしないが、現在、それぞれの活動場所をお願いしている。いずれ公民館のオープンが近づけば、生涯学習振興課から連絡があるでしょうし、審議会の委員についても生涯学習振興課から連絡がある。
竹内 委員長	・犢橋公民館の職員は、一時的にいなくなり、活動団体は行った場所で責任をもって取り組むということですね。
平川 館長	・そうです。職員はいなくなりますし、小さな事務所をつくってその期間対応するというところはありません。
竹内 委員長	・行った先でトラブルがあった時など、生涯学習振興課とコミュニケーションをとることは可能なのか。
平川 館長	・設計図ができていますので、サークルが戻ってきたときに、どこの部屋を利用するかなど話し合いを生涯学習振興課と行っている。いずれにせよ、窓口は生涯学習振興課となる。

竹内 委員長	・ありがとうございます。その他、ありますか。
吉 田 委員	・こてはし台公民館の「英語で聞く落語」の落語家というのは、日本人か外国人か。
関 こてはし台館長	・日本人です。
吉 田 委員	・高校生以上となっているが、一般の方も大丈夫か。
関 こてはし台館長	・大丈夫です。
竹内 委員長	・その他、ありますか。
服 部 委員	・犢橋公民館に休館中、電話すると「この番号は現在使われていません」というようなメッセージが流れるのか。
竹内 委員長	・生涯学習課でそのような手続きをするかと思います。休館というメッセージは流れると思います。
服 部 委員	・ありがとうございます。
竹内 委員長	・その他、ありますか。無ければ、平成28年度の主催事業計画を承認するでよろしいでしょうか。
竹内 委員長	・意義がないものとし、承認することに決めます。 ・それでは続きまして、平成27年度の事業報告について質問等お願いします。
竹内 委員長	・幕張公民館の「えいごであそぼ」の講座は好評ということだが、受講生が3回受け最後はどんな感じで終わっているのか。
斎 藤 幕張公民館副館長	・わきあいあいと楽しくでき、これからもやっていけるのではないかと いう印象を持った。
竹内 委員長	・こてはし台公民館はどうですか。
関 こてはし台公民館長	・申し訳ありませんが、28年度の新規事業ですので、まだ実施して いません。来年度報告させていただきます。
吉 田 委員	・ある程度の英語ができないと、このような講座には入れないのでは ないか。

齋藤 幕張公民館副館長	・果物の模型やイラストなどを使って、名前を覚えたり、日常の基本的な会話などですので、一定のレベルが必要だとかは特に問題はないと思います。
吉田 委員	・母親も一緒にですか。
齋藤 幕張公民館副館長	・母親は見学しています。
竹内 委員長	・ありがとうございます。
竹内 委員長	・その他ありますか。
服部 委員	・さつきが丘公民館の新春ファミリーコンサートの応募者総数が50で学習者数が79とあるが、応募者総数は79なのではないか。
鈴木 さつきが丘公民館	・そうです。訂正をお願いします。申し訳ありません。
竹内 委員長	・ありがとうございます。その他ありますか。
小嶋 委員	<p>・どこの公民館の主催事業も素晴らしいと思う。今の世相の中で考えなければならないこととして、人を殺すのが平気な時代となっていること。ある心理学者が、誰でもよいから人を殺してみたいという人が10万人に2人いると言っている。千葉市が90万として18人そういう人がいることになる。先日の殺害の様子が裁判で明らかになり、記者によって全国放送された。言論の自由と言いながら、あまりに悲惨な報道してよいのかと思った。公民館の講座の中で、このような環境を無くしていく講座があればよいと思った。これは希望です。</p> <p>次は、質問ですが、運営懇談会と運営審議会はどんな関係なのか。</p>
竹内 委員長	・質問ということで、お願いします。
永野 幕張公民館館長	・運営審議会は、千葉市情報公開条例に基づく付属機関で公民館長の諮問に基づき、区内の各種事業の企画、実施につき調査審議を委嘱された委員をもって開催するものである。また、運営懇談会は各地域の拠点公民館の現状を話し合い、その地区公民館のことだけの運営等について意見や感想を述べてもらう。
小嶋委員	・先ほど28年度の主催事業が決定してしまったわけで、その後、各公民館で28年度の懇談会を行った時に、いろいろ意見が出てきたときにどうなるのかということで質問した。



竹内 委員長	・通常は、運営懇談会が先で、運営審議会がそのあと行うというのは全館同じだと思います。懇談会でいろいろ意見が出て、その後、審議会の方へお持ちいただいて承認いただくという動きです。何かありますか。
永 野 幕張公民館館長	・各地区館に対しての諮問機関で、その館の事業に反映させていくような内容である。
大 矢 委員	・公民館運営懇談会ではなく公民館懇談会であれば、理解できる。昔は各公民館の運営審議会だったものが、各区で審議会をつくることになった時に何らかの形で運営審議会を残してほしいという要望があり、今のよう形になった。
竹内 委員長	・ありがとうございます。よろしいでしょうか。その他27年度の報告事項について質問はありますか。無いようでしたら各公民館におかれましては、引き続き大きな成果をあげられます様をお願いします。その他の事項について、事務局をお願いします。
永 野 幕張公民館館長	・昨年10月11月の2か月間、空調設備改修工事でご迷惑をおかけしました。各委員のご協力ありがとうございました。2点目は千葉県公民館連絡協議会の研究大会の報告を委員長さんからお願いします。
竹内 委員長	・平成27年11月27日に第67回千葉県公民館研究大会は香取市の佐原文化会館で行われた。記念講演は「佐原の町並みを考える会の理事」高橋賢一氏。地域住民と一緒にまちづくりを歩いたので、現在に至ることができたという内容だった。その他、歓迎セレモニーあと、5つの分科会に別れた。第一分科会は「環境運動と地域連携」、第二分科会は「公民館運営審議会委員と連携した地域づくりまちづくり」、第三分科会は「地域づくりと公民館」、第四分科会は「超高齢社会の絆づくり」、第五分科会は「佐原の町並み見学」で、私は第二分科会に参加した。分科会の時間が短く参加者の現状を報告するにとどまり、問題点をどうするかまでは至らなかった。毎年、開催されるので興味のある方はぜひ参加してください。今回の記録集が公民館にあるので、ご覧になりたい方は申し出てください。 以上です。何か、質問等ありますか。
吉 田 委員	・開催場所はいつごろわかるのか。
竹内 委員長	・永野館長 お願いします。
永 野 幕張公民館館長	・来年度は、印旛地区になります。時期的には11月に行われます。
竹内 委員長	見学コースは、もっと早く参加者を応募する3か月くらい前にはわかる

	<p>のではないか。</p>
永野 幕張公民館館長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7～8月の夏ぐらいまでにはわかります。</li> </ul>
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印旛近郊の名所、旧跡が見学コースになるのではないか。来年度は、ぜひふるって参加して下さい。</li> </ul>
吉田 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行くときは、自家用車か。</li> </ul>
永野 幕張公民館館長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が少ない時は公用車ですが、多くなればそのときに検討します。</li> </ul>
吉田 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまって行くのか。</li> </ul>
永野 幕張公民館館長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまって行きたいと思います。</li> </ul>
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他にありますか。</li> </ul>
大矢 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前にも話したことがあるが、審議会の開催時期が中途半端ではないか。今やっているものを4月に行い、9月に経過の中間報告が良いのではないか。6月にやってもあまり意味がないのではないか。</li> </ul>
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度の第1回をできれば4月に行うのが良いということだが、第1回というのは27年度の報告が主体で承認事項なので、急いで4月にやるか、ゆとりをもって6月にやるかという話にはならないか。</li> </ul>
大矢 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月にやり、6月にもやっていくということは、どういう関係性があるのか。それが検討されていない。1年間に2回行うのに、それが3月と6月に行うというのはどうなのかという意味です。</li> </ul>
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月は28年度の事業計画の承認事項が主体で、27年度の事業報告はなくても良いくらい。6月に行う第1回が27年度の事業報告として扱う。その時に28年度の計画がどのように進捗しているか、話すことも可能である。その場合、大矢委員が話しているように4月5月だけでは短すぎるので、9月ごろがよいのではないかということになる。 これは、生涯学習部で運営審議会を3月と6月に行うということが決まっているのか。</li> </ul>
永野 幕張公民館館長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その件に関して、6区とも5月末までの2年間で任期なので6月に開催している。そして、そこで、報告と計画が審議される。</li> </ul>
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任期が決まっている関係で、6月は動かせないということですね。よ</li> </ul>

吉田 委員	<p>ろしいでしょうか。皆さんどうでしょうか。 ご意見が無いということは、今のままでよろしいということにします。</p> <p>・3月の審議会で反省と計画がありますが、この審議会で来年度の計画の意見を大切にして中身の濃いものにし28年度を運営していく。そのためにも、今日の会議を重視して企画運営していくのが良いのではないかと思う。</p>
竹内 委員長	<p>・ありがとうございます。なければこれで終わりたいと思いますが、本日28年度の計画について話し合ったことで参考になることはどんどん取り入れ、よりよい運営に進んでもらいたいと思う。本日はご協力ありがとうございました。 事務局へお返しします。</p>
斎藤 幕張公民館副館長	<p>・委員長ありがとうございます。これで、平成27年度 第2回運営審議회를終了します。</p>

#### 問い合わせ先

千葉県教育委員会 生涯学習部 幕張公民館  
電 話 043-273-7522